

2019年度 劇研「空」活動報告

2020/5/20

劇研「空」代表 洲浜昌三

演台・発表場所	月日	主な内容・出演者・
構成劇「瓦版だよ〜」 (大森町並交流センター)	8/25	天領さん祭り実行委員会からの出演依頼。 石見銀山の 歴史を劇形式や語り、民謡で構成。映像も使い楽しく銀山の歴史が分かるように創作（洲浜） 出演者：民謡「要の会」（高野要、塩見妙子）劇研「空」（吉川礼子、田中和子、松本領太、洲浜昌三） （観客約80人、約20分の公演だったが好評だった）
第10回「朗読を楽しむ」 (市民会館中ホール)	9/21	市民会館の地域支援事業の一つで、会館スタッフの支援がある。 講談「初代奉行・大久保長安」（伊藤静稔）、 平田哲実、松原忠晴作の短歌朗詠（渋谷麗香） 浅原才市の「口あい詩」朗読、朗詠（松本、山本、堤、吉川） 洲浜昌三詩集『春の残像』朗読（澤江洋子、中村学、竹下ちとせ、堤浩隆、田中和子、吉川礼子、山本、松本、洲浜） 群読「長州軍侵攻と石見銀山最後の代官」洲浜作 朗読（中村学、松本、山本、吉川、田中、堤、洲浜） （短歌の朗詠は初めてだが、感動的だった、恒例の朗読劇「長州軍侵攻と石見銀山最後の代官」司馬遼太郎の作品や歴史資料、映像を使い、発表。初めて知ったという人も多く、好評だった。約40人）
朗読を楽しむin静岡 (静岡町町セン・公民館)	2/11	静岡町文化協会から依頼され公演。 静岡町出身の詩人、小林俊二詩集『土と石の詩想』、中島雷太郎・ミヨ子歌集『径づれ』、万葉集より柿本人麻呂の石見の歌、『春の残像』、休憩後に群読劇『長州軍侵攻と石見銀山最後の代官』。 朗読（澤江洋子、山本、松本、吉川、田中、洲浜） 『径づれ』からシベリア抑留記も朗読、短歌も朗詠した。朗読は初めてという人が多く、アンケートでは大変好評だった。後日、静岡文化協会会報に掲載された。約70名）
大田三中全校演劇指導 (大田三中体育館)	発表 11/3	脚本「グッド・バイ・マイ」を全校生徒17名が参加して文化祭で発表。 指導を依頼されて4年目になる。発表までに2回演技指導に行った。校長や先生方の理解があるからできる全校演劇。県下で正式な演劇に取り組むのは大田三中だけだかも。生徒たちも熱心に取り組み、大きな成果があった。
市民会館カルチャ講座 「朗読で楽しむ郷土の作品」 (市民会館会議室)	月 1 ～ 2 回	大田市民会館カルチャ講座の一つで、会議室を500円で利用できる特典がある。月に1～2回夜開催し、一般の人、高校生も今年は参加した。参加費一回100円。月に1～2回実施した。 『出雲匡風土記』『雪女』『ひろがるカライモ』『ヘルン先生』『乙女峠』『去就を如何せん』『浜田城炎上』『維新前夜』『幕末の百姓一揆』等

(2020年5月、しまね演劇ネット事務局へ提出した活動報告の一部に追加して作成。2019年4月～2020年3月)